

京都田辺中央病院で行っている研究について

(臨床研究に関するお知らせ)

京都田辺中央病院では、下記の研究を行っています。

この研究では、患者さんの診療の記録をもとに、治療の効果などを調べます。

患者さんに新たな検査や治療をお願いすることはありません。

1. 研究の名前

急性冠症候群 (Acute Coronary Syndrome ;ACS) 患者さんに対する「ACS LDL-C 管理プロトコル」の効果

2. 研究の責任者

京都田辺中央病院 臨床薬剤部部長 村岡 淳二

3. 研究の目的と内容

心臓を栄養する血管 (冠動脈) がつまったり、狭くなったりすることで起こる病気を「急性冠症候群 (ACS)」といいます。

この病気を起こす原因のひとつが、「悪玉コレステロール (Low-Density Lipoprotein Cholesterol ; LDL-C)」です。

発症後は再発を防ぐために、血液中の LDL-C を低く保つことが大切です。

しかし、全国的な調査では、目標値 (70mg/dL 未満) を達成している方はまだ 3 割ほどしかいません。

そこで当院では、2023 年 1 月から、医師と薬剤師が協力して LDL-C の管理を行う

「ACS LDL-C 管理プロトコル」という取り組みを始めました。

この研究では、この新しい取り組みを始める前と後で、コレステロール値の改善や心臓の再発作を防ぐ効果がどのくらいあるかを調べます。

4. 調べる内容

2021 年 1 月から 2024 年 12 月までに、急性冠症候群で緊急入院された患者さんの診療記録を使います。

対象となる情報は、次のようなものです。

- ・ 年齢・性別・身長や体重
- ・ これまでの病気やお薬の情報
- ・ 喫煙の有無
- ・ 血液検査の結果 (LDL-C など)

- ・心臓の検査（左室駆出率など）
- ・心臓の治療内容や再発・死亡の有無

この研究では、診療の記録を匿名化（名前などを消す）して集計するため、どなたの情報か外部からわかることはありません。

5. 費用・治療への影響

この研究のために新しい検査や治療、費用の負担が増えることは一切ありません。研究に協力する・しないことで、診療内容や治療成績が変わることもありません。

6. 個人情報の取り扱い

患者さんの個人情報はすべて匿名化し、研究担当者が責任をもって管理します。外部の第三者が特定できることはありません。研究の結果は、学会や論文で報告される場合がありますが、個人が特定されることはありません。

7. 研究への参加を望まない場合

この研究にご自身の診療情報を使ってほしくない場合は、いつでもお申し出ください。お申し出があった場合は、速やかにその情報を研究対象から除外します。（ただし、すでに研究結果がまとめられ発表済みの場合は、削除できない場合もあります。）

8. 研究を行う病院

京都田辺中央病院
院長：野口 明則

9. お問い合わせ先

研究に関するご質問やご相談は、下記までご連絡ください。

研究担当者：京都田辺中央病院 臨床薬剤部 畑中 章吾 循環器内科 若菜 紀之

電話：0774-63-1111（平日 9:00～17:00）

この研究は、患者さんの治療の質をより高めることを目的としています。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。